

東京セントラルNEWS VOL. 2

その診断に納得できますか？(セカンドオピニオンの重要性)

セカンドオピニオン例

- 左足に違和感を覚え、地元の病院に行ったところ「肉芽種」と診断、足を切断しなければならないと言われました。全国でも数少ない肉芽種の専門家のセカンドオピニオンを受けたところ、肉芽種ではないことが判明し、足を切断しなくて済みました。
- 心臓に特殊な病気を抱え、地元の病院で手術を行う必要があると診断されました。セカンドオピニオンを利用し、日本を代表する心臓外科医に診断してもらったところ、地元の病院では分からなかった状態まで発見できて、手術を回避することができました。

以上の例はセカンドオピニオンにより手術が回避された例です。現在の医療は進歩しています。そして様々な多くの治療法が生まれています。その結果、医師によって病気、ケガの治療法に対する考え方が違うことがありますし、医師や病院によって、医療技術や診療の質に差があることも考えられます。

セカンドオピニオンは①専門医の意見が聞きたい、②手術をすることになったが他に選択肢はないの？③高度な医療が必要らしい。どうしたらいいの？といった医療現場から聞こえる患者さんの声を形にしたものです。

つまり、すでに治療中の病床状に関して、より良い医療を選択するために、主治医以外の医師に現在の治療に対する見解や、今後の治療方針、方法について意見を聞くことができます。

セカンドオピニオン外来の現状は、セカンドオピニオン外来は特に受け付けておらず、そのような受診希望があれば、通常の『紹介状持参の初診』として扱っている病院が多いことが事実です。

セカンドオピニオン外来の基本料金としては、だいたい30分10,000円とされています。また、外来の疾患別内訳としては、ガン関係が多いそうです。

セカンドオピニオンは患者にとっても医師にとっても、様々な利点があると思います。セカンドオピニオンを選択することで主治医の方針に納得できれば、現状の治療に安心して取り組みます。別のより良いと思われる治療に出会えるチャンスも得られます。誤診が発見されることもあります。また、病気や治療法に関する患者の理解が深まれば、それは結果的に医師との信頼関係を築くことにもなります。幅広い医師の意見を聞くことは質の高い治療を受けるために必要なことなのです。

保険会社の中では保険にご加入頂いているお客様に、このセカンドオピニオンを無料で受けられるサービスの取扱いをしている会社もあります。このサービスをもしもの時にすぐに利用できるように、そのサービスが付帯している保険を希望して加入している人もいらっしゃいます。保険は保険金の支払だけでなく、セカンドオピニオンサービスや、24時間健康相談サービス、メンタルヘルスカウンセリングサービスなどが利用できるものがありますので、このようなサービスがあるかどうか、保険に加入する際の判断材料の1つとして考えてみてはいかがでしょうか。



今日のポイント

1. 医師によっては病気やケガへの考えが違う場合がある
2. セカンドオピニオンを受けられる場所は限られている
3. 専門の先生に相談するのがベスト
4. セカンドオピニオンは患者や医師にとっても利点がある
5. セカンドオピニオンが利用できる保険もある